

2013年春の結果報告

TOKYO-Bay Shorebirds Survey

東京湾シギチドリ一斉調査

29名の方に調査に協力していただき、無事調査を終えることができました。
ありがとうございました。

●調査結果のまとめ●

●調査日・調査場所

2013年5月12日（日）

コアタイム 11:30~12:30

東京湾内湾 19地点

調査参加者 29名

●確認されたシギチドリ類

- ・24種、3,073羽となりました。
- ・複数回カウントしたサイトは種のMAX値を採用。
- ・コアタイム外ですが、重複がないと推測されるため六郷干潟・葛西海浜公園（東なぎさ・西なぎさ）・茜浜は算入しました。

●確認されたシギ・チドリ LIST

科名	種名	学名	科名	種名	学名
チドリ科	ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>	シギ科	タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>
チドリ科	ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>	シギ科	オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>
チドリ科	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	シギ科	チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>
チドリ科	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	シギ科	ダイシャクシギ	<i>Numenius arquata</i>
チドリ科	メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>	シギ科	ハウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>
ミヤコドリ科	ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus</i>	シギ科	アカアシシギ	<i>Tringa totanus</i>
セイタカシギ科	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>	シギ科	アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>
			シギ科	キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>
			シギ科	ソリハシシギ	<i>Xenus cinereus</i>
			シギ科	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>
			シギ科	キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>
			シギ科	オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i>
			シギ科	ミユビシギ	<i>Calidris alba</i>
			シギ科	トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>
			シギ科	サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>
			シギ科	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>
			シギ科	アカエリヒレアシシギ	<i>Phalaropus lobatus</i>

●確認種数とサイト

表1 調査地のシギチドリ類の個体数(2013.5.12:コアタイム)

コアタイム 調査サイト	東京港 野鳥公 園	葛西海 浜公園 (東なぎ さ・西な ぎさ)	葛西臨 海公園 (鳥類園 下の池)	三番瀬 三番瀬 (浦安 側:猫実 川河口)	三番瀬 (浦安 側:猫実 川河口)	江戸川 放水路	塩浜海 岸	市川市 行徳鳥 獣保護 区	多摩川 河口	多摩川 河口(東 京側)	六郷干 潟	中央防 波堤	森ヶ崎 南	大森ふ るさとの 浜辺公 園	中央海 浜公園	谷津干 潟	茜浜	盤州	富津岬	総計
ムナグロ	51	167	23	77	12	284	1733	11	62	60	19	242	44	0	17	57	37	160	17	3073
ダイゼン				6		1	74					1				2		48		2
コチドリ	4		2	3		1		2				11		1				1		21
シロチドリ		2		3								3						1	8	17
メダイチドリ				4		51			16	29						3		19	5	127
ミヤコドリ		40																		40
セイタカシギ			2								1	1								4
タシギ			1					2			1									4
オオソリハシシギ				34		8	137									2				181
チュウシヤクシギ	5	30	2	9	10	27		2	19	9	2	22	2		2	1	13	3		158
ダイシヤクシギ																		1		1
ホウロクシギ		1																		1
アカアシシギ		6						1												1
アオアシシギ		6	6					1	3		1									17
キアシシギ	22	33	8	13	2	54	9	2	16	3	12	16	2	10	31	9	12			254
ソリハシシギ			1			12			1		2	1			1					18
イソシギ	2	3	1			4		2				5	2	3						22
キヨウジョシギ	18	1		8		124	1		1			130	38	1	6	28				356
オバシギ							13													13
ミユビシギ							118													118
トウネン		2					43		4			48			10					107
サルハマシギ		1																		1
ハマシギ		48				2	1338		1	19		3			1		66			1478
アカエリレアシギ												1								1

●シギ・チドリの種構成

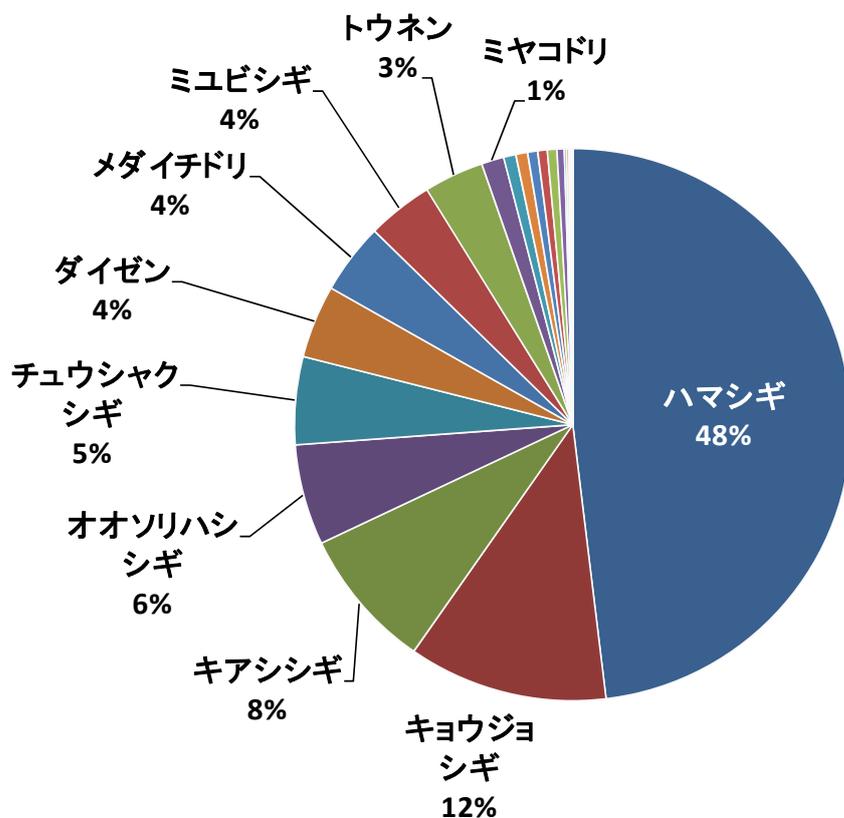


図1
シギチドリ類の種構成
(総数:2013/5/12)

ハマシギが全体の約半数。1,478羽。

●確認された種類の傾向

- ・ハマシギが最も多かった(1,478個体)。
- ・キョウジョシギ、キアシシギが次いで多い。干潟から岩礁、砂浜など幅広く生息する種が多いのか？満潮時の居場所(休息地)などに関係しそう。
- ・確認地点では、キアシシギの17カ所が最多。次いでチュウシャクシギ16カ所、キョウジョシギ11カ所。

●個体数の多かったサイト

- ・塩浜海岸、江戸川放水路、中央防波堤、葛西海浜公園、盤州の順。塩浜海岸が圧倒的で、大きく引き潮になると三番瀬が少ない。より沖の干潟をシギチドリは目指す？

●種類が多かった場所

- ・中央防波堤(12種)、葛西海浜公園(11種)、江戸川放水路(10種)、多摩川河口(9種)、谷津干潟(9種)。環境が多様だと種数も多い？葛西は臨海公園も含めると16種。

●シギチドリの確認分布

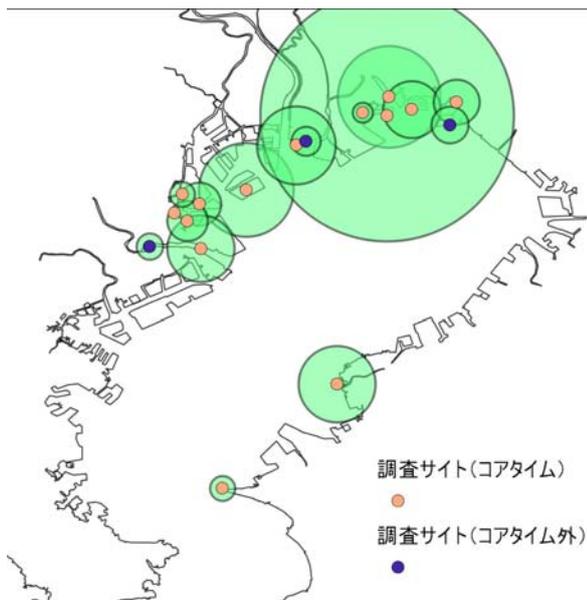


図2
調査地のシギチドリ類
の個体数分布(総数)

オレンジ色がコアタイム
サイト
紫色はコアタイム外
緑円が個体数の大きさ

塩浜海岸が最大で
1,733羽。

総数

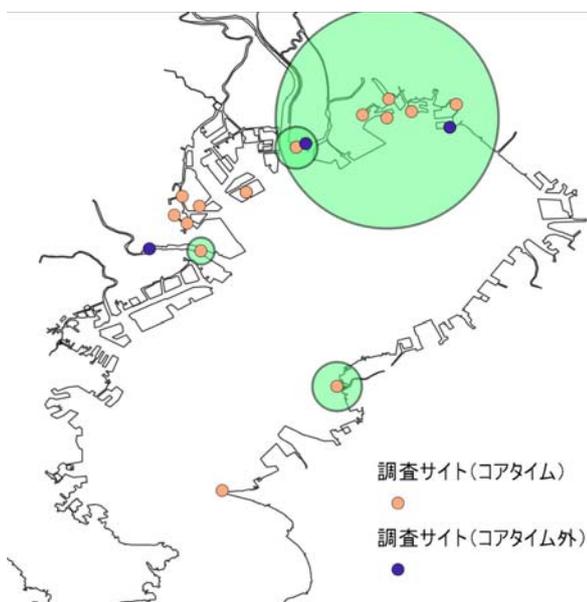


図3
調査地のハマシギの
個体数分布

オレンジ色がコアタイム
サイト
紫色はコアタイム外
緑円が個体数の大きさ

塩浜海岸が最大で
1,338羽。

ハマシギ

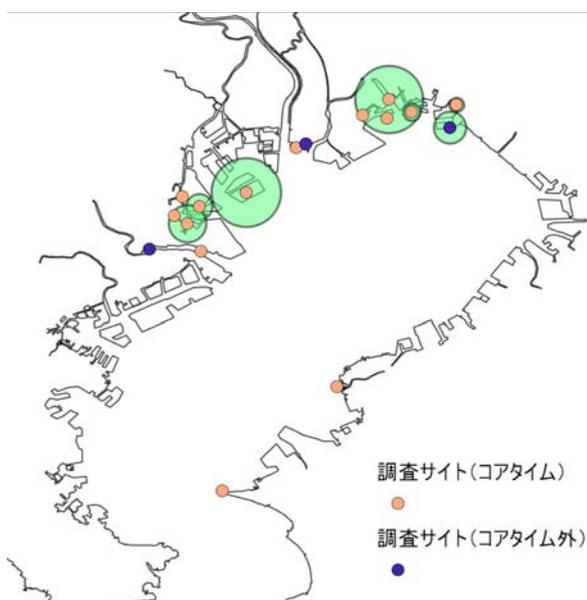


図4
調査地のキョウジョシ
ギの個体数分布

オレンジ色がコアタイム
サイト
紫色はコアタイム外
緑円が個体数の大きさ

中央防波堤が最大で
130羽。

キョウジョシギ

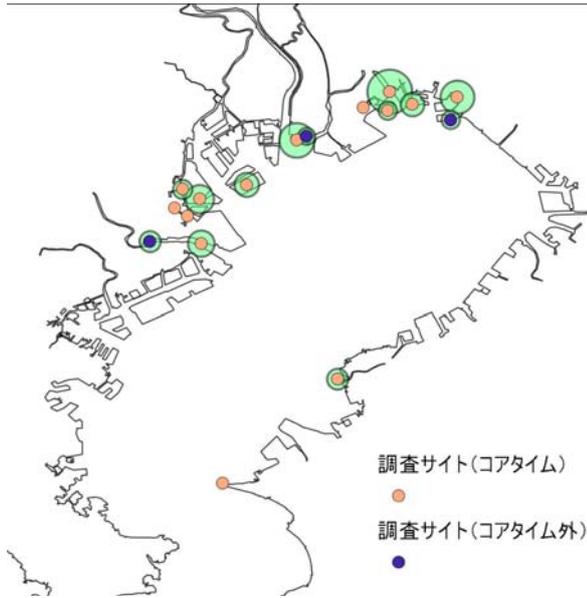


図5
調査地のキアシシギの
個体数分布

オレンジ色がコアタイム
サイト
紫色はコアタイム外
緑円が個体数の大きさ

江戸川放水路が最大
で54羽。

キアシシギ

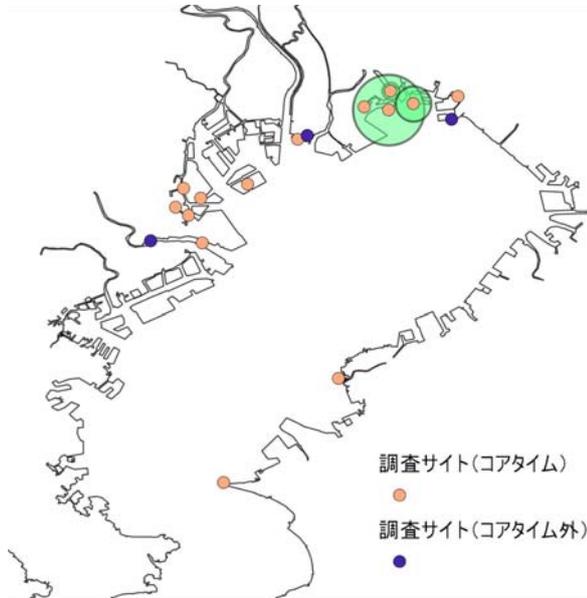


図6
調査地のオオソリハシ
シギの個体数分布

オレンジ色がコアタイム
サイト
紫色はコアタイム外
緑円が個体数の大きさ

塩浜海岸が最大で
137羽。

オオソリハシ シギ

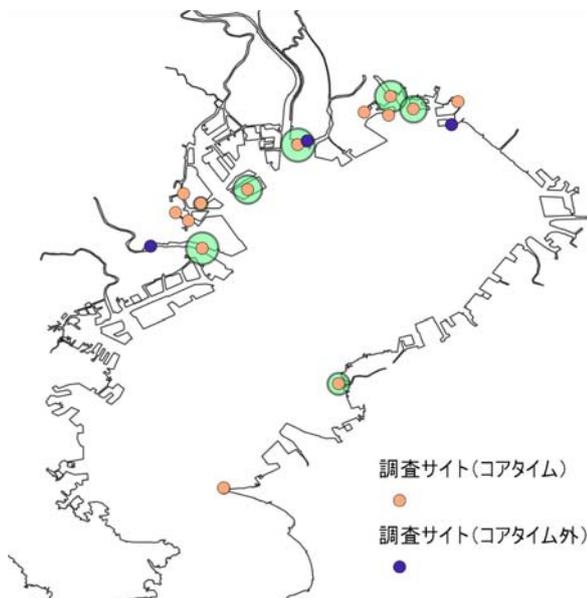


図7
調査地のチュウシャク
シギの個体数分布

オレンジ色がコアタイム
サイト
紫色はコアタイム外
緑円が個体数の大きさ

葛西海浜公園が最大
で30羽。

チュウシャク シギ

モニタリングサイト1000 春期調査 (シギ・チドリ類)

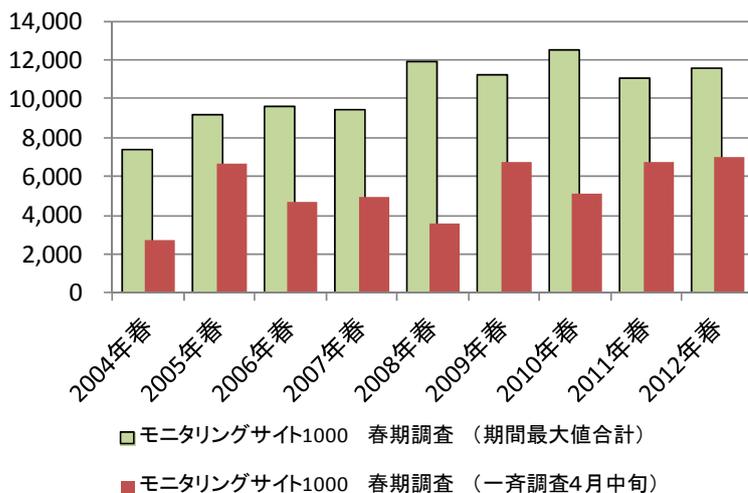


図8

モニ1000東京湾内のサイト春期最大数と一斉調査の推移。

モニタリングサイト1000速報から作成。

シギ・チドリ類

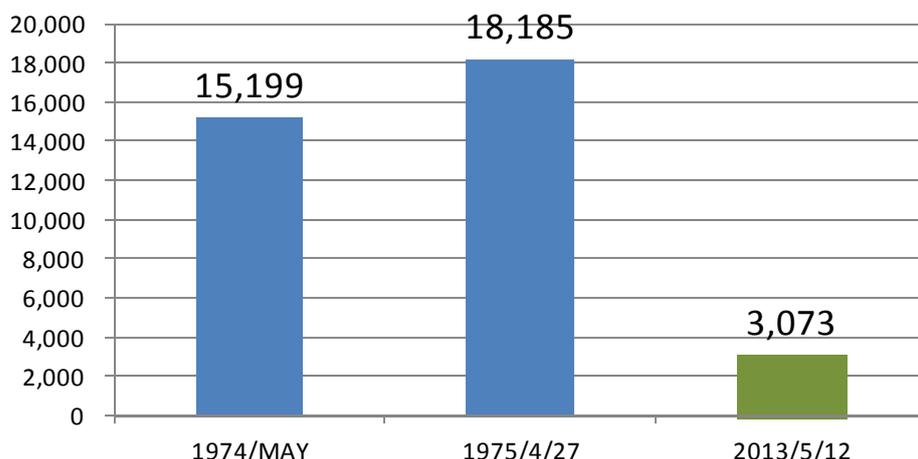


図9

東京湾における過去の一斉調査と、今回の一斉調査の比較。

「干潟に生息する鳥類の全国一斉調査3(1976)」から作成。

●感想

モニタリングサイト1000の一斉調査は4月に行われていて、ここ数年は4～6千ぐらいで(図8の赤棒)、5月よりも個体群が大きそうです。これは、4月はハマシギの群れがまだ残っているためではないかと思われます。

「干潟に生息する鳥類の全国一斉調査3(1976.4.20)日本鳥類保護連盟・日本野鳥の会」から1974年春と1975年春の調査で確認されたシギ・チドリ類の個体数をグラフに示しました(図9)。日時や調査サイトなどを考慮にいれ、更に検討する必要がありますが、今回の個体数は、約5～6分の1でした。

1975年は4月27日の調査でサイトの調査日は全て一致、1974年は5月までとしかわかりません(この前版の2をお持ちの方いらっしゃらないでしょうか)が、過去も4月のほうが多い傾向がありそうです。また、調査サイトは、富津岬、小糸川河口周辺、小櫃川河口、高須干潟、養老川、千葉港、幕張埋立地、京葉港、原木中山、江戸川放水路、新浜、オリエンタルランド、葛西、夢の島、13号埋立地、ヘドロ島、大井ふ頭、六郷川河口、金沢地先埋立地の19カ所となっており、今となっては詳細な位置も不明(消失した場所もあり?)なので、ぜひベテランの方にご教示願ひ、現状どうなっているか確かめたいところです。

文責：守屋年史